

合同避難訓練 評価報告書

作成日：令和 7 年 10 月 10 日

作成者：学校法人木の実学園

木の実幼稚園

理事長 中矢謙一郎

<総評>

今年で 12 回目となるこの度の避難訓練も、避難先である垣生中学校はもとより、垣生駐在所はじめ自主防災会連合会や女性防火クラブ、交通安全協議会など地域の方々より御協力を賜れたおかげで実施できたものであり、深く感謝申し上げます。 また、令和 5 年度より今年度も引き続き松山市西消防署西部支署より、見守りや避難後の全体へのお話等を頂きましたことに、厚く御礼申し上げます。

今回も垣生中学校の先生方と中学 2 年生の皆さんのご協力により、園児（3 歳~5 歳児）の避難、そして中学 2 年生が年長児（5 歳児）を校舎 4 階まで垂直避難させるという合同避難訓練を行え、子どもたちにとって「津波から身を守る」とはどういう行動なのかを体験する大変貴重な機会となりました。

また、上述の各会の方々が避難に同行下さったりルートの要所に立って下さったりしたおかげで、今回も事故なく全参加園児が無事に垣生中学校へ到着致しました。 最後尾の到着までにかかった時間は、これまでの平均時間とほぼ同じであり、津波被害から身を守るための避難行動にかけられる時間（100 ~120 分程度）に対して、十分な時間を確保できていると言えます。 引き続き小さな改善点を積み重ね、訓練を継続する中で避難行動が習慣化されることにより、子どもたち並びに地域の防災教育・防災力の向上に努めてまいります。

< 記録：避難開始から垣生中学校到達までに要した時間（直近の 5 回） >

令和 03 年度： 先頭の到着 ⇒ 23 分 最後尾の到着 ⇒ 27 分（4 分差で到着）

令和 04 年度： 先頭の到着 ⇒ 22 分 最後尾の到着 ⇒ 29 分（7 分差で到着）

令和 05 年度： 先頭の到着 ⇒ 21 分 最後尾の到着 ⇒ 26 分（5 分差で到着）

令和 06 年度： 先頭の到着 ⇒ 23 分 最後尾の到着 ⇒ 27 分（4 分差で到着）

令和 07 年度： 先頭の到着 ⇒ 26 分 最後尾の到着 ⇒ 30 分（4 分差で到着）

避難開始から最後尾到着までの平均時間 ⇒ 28 分 * 直近の 5 年度

<個別事案と今後について>

- ・避難時に安定した速度で歩く上で年長（5 歳児）と年少（3 歳児）がベアになることが大変有効であり、この隊列を長らく維持しています。 また、隊列をいくつかのグループに分割して避難することを今年度も継続しました。 過年の反省から出たこれらの方法により、小さな遅れの蓄積を緩和し、安定した速度で安全に歩行する点に改善が見られております（初年度に避難完了に 50 分かかったが、直近 5 年間では平均して 30 分以内に避難を完了できている）。
- ・隊列をいくつかのグループに分けることにより歩行速度が安定し（前のクラスに追いつくための小走り等の回数が減ったことに伴い）、転倒等による怪我が少ない状態を、今回も維持できました。
- ・今回も中学生 2 年生が年長児（5 歳児）の手をとり垂直避難を体験させて頂きました。
- ・以前、女性防火クラブの方より、「（時間に余裕があるのだから）隊列に遅れが生じても、安全を優先して小走りにならないように声掛けした方が良い」とのアドバイスを頂戴しており、今年度も教職員から子どもたちへ急ぐようにとの声かけは最低限にしました。
- ・今年度は防災会・女性防火クラブの方が、隊列の先頭・中央付近・最後尾の 3 か所に「避難訓練実施中（園制作）」という表示のある旗を持って見守って下さったおかげで、周辺を往来する車両がこれまでより一層減速して通過して下さった感触を得ました。
- ・訓練を反復させて頂いておりますおかげで教職員も避難について要領を得てきており、また、避難行動の速やかさも非常に安定しております。 万が一の際には精神的なところで焦りや動揺が出るかと思いますが、だからこそ訓練の結果に満足せず、今後も訓練・評価・改善を継続し、万が一の際には教職員が迷いなく避難行動でき、また地域の子どもたちにとっては避難行動が習慣となるよう努力致します。

今年度も、大変お世話になりました。 （以上）